

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030073

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A		
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	役場庁舎整備事業		見直し年度	平成28年度		
事業期間	平成28年度～平成29年度		担当課	3 税財管理課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	工事件数		ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業		
事業目標	2件		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	庁舎非常用蓄電池更新工事 役場庁舎煙突外壁他改修工事			庁舎非常用蓄電池更新工事 ※補正繰越(H28実施)	左記のとおり(補正繰越事業)	役場庁舎煙突外壁他改修工事
	事業費(千円)	7,300	0	6,100	0	1,200
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	7,300		6,100		1,200	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,984	0	0	5,984	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	5,984			5,984		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】				庁舎非常用蓄電池更新工事 5,984千円	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
					※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値			1件	1件
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%
	全体達成率	0%	0%	0%	82%	82%
	備考欄					

事業名	役場庁舎整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係主査	宇野敏志

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	役場庁舎維持管理
【抱える課題やニーズは】	非常用蓄電池設備の老朽化による災害時拠点としての機能低下	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	非常時における非常用蓄電池設備の安全稼働	① 工事件数	目標年度 平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	災害時拠点としての役場庁舎の適切な維持管理を行い、災害に強いまちづくりを目指す。		目標値 1件
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成28年度
			目標値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	更新工事	非常用蓄電池更新工事を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	災害に強いまちづくりを目指すため、非常用蓄電池設備の更新は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	非常用蓄電池設備を更新することにより、災害時拠点としての機能低下を防ぐことができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	雄武町全体の利益につながるものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
非常用蓄電池設備を更新することにより、災害時拠点としての機能低下を防ぐことができた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
災害時拠点となる役場庁舎の適切な維持管理を図るためにも、今後も計画どおり事業を継続する必要がある。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止